

# お知らせ

ギャラリーあしや特別展  
ワークシヨップ

## ●焼き絵講座

7月15日から開催中の特別展の芸術家、Kazumiさんによる焼き絵講座です。焼き絵の実演のほか、参加者と焼き絵のキーホルダーを作ります。



▽とき 8月19日(土)・午前10時～正午

▽ところ 中央公民館2階

▽対象 中学生以上

▽定員 15人(事前申し込み先着順)

▽参加費 500円

▽申し込み 8月1日(火)～17日(金)・午前9時～午後5時に、中央公民館(☎2222・1681)へ

※月曜日は休館です。

## 一時保育を利用しませんか

保護者のリフレッシュやさまざまな事情で、一時的に保育を必要とする乳幼児を保育園で預かります。

▽対象 原則6カ月児～就学前の

町内に住んでいる乳幼児

▽保育日時

●芦屋保育園Ⅱ(☎)・(☎)・午前9時～午後5時

●緑ヶ丘保育園Ⅱ(☎)・(☎)・午前9時～午後4時

※保育園の休園日を除く

▽利用料金

3歳未満児Ⅱ1時間500円

3歳以上児Ⅱ1時間400円

※おやつ代を含みます。別途給食費が1日250円かかります。

※半日、1日単位もあります。

※利用には事前登録・予約が必要です。

▽申し込み 芦屋保育園(☎2223・0343)

緑ヶ丘保育園(☎2223・1746)

## インボイス制度と電子帳簿保存法対応講習会

10月1日からインボイス(適格請求書)制度が導入されます。また、電子帳簿保存法も令和6年1月から始まります。この講習会では、事業者を対象にそれぞれのポイントや対応方法を分かりやすく解説します。

▽とき 8月23日(火)・午後2時～4時

▽定員 50人

## 選べる出前講座 50 種類以上

講座メニューの中から皆さんが聞きたい内容を選んでください。町職員が話をお届けします。

▷メニュー配布場所 役場2階企画政策課窓口、中央・芦屋東・山鹿公民館、町民会館

▷対象 原則として町内に在住、在勤する5人以上の団体やグループ

▷申し込み 開催日の20日前までに広報情報係(☎2223・3569)へ申込書を提出



## 訂正とおわび

広報あしや7月号に掲載した1000号特集(5ページ)の一部に記載間違いがありました。訂正しておわびします。正しくは次のとおりです。

【誤】重岡梨栄子さん

【正】重岡利栄子さん

▽問い合わせ 広報情報係(☎223・3569)

▽ところ 芦屋町商工会2階

▽問い合わせ 芦屋町商工会(☎2222・2111)

## 広報あしやに、広告を掲載しませんか

「広報あしや」では、事業所や会社、店舗などの広告を有料で掲載しています(制限事項あり)。

▷規格 白黒で1枠87×50mm(この記事の枠内)

▷掲載料金 1枠1万円で、2月以上掲載が条件

▷申し込み 掲載希望号の2カ月前の1日までに広報情報係(☎2223・3569)へ申込書を提出



## うちの子「結婚」しないのかしら?

独身のお子様の結婚相談承ります

お子様の結婚に関するお悩み、プロの仲人がお答えします。

まずはお気軽に仲人にご相談下さい

☎093-967-0555

結婚相談所ムスベル



広告

# 芦屋歴史紀行

その三百二十七

## 維新前夜と山鹿流②

町内に残る歴史資料にはさまざまな種類があります。今回の特別展では、江戸時代に日本中を歴訪し、歴史にその名を遺した幕末の人、放浪の兵法家 山鹿素水を紹介します。彼は津軽藩（現在の青森県）山鹿流宗家に生まれますが、若くして隠居の形で職を辞し、山鹿流兵法指南の家職を次代に預け、全国を歴訪します。各地の見どころある者には山鹿流を授けながらの旅。作家、司馬遼太郎は吉田松陰の生涯を描いた作品『世に棲む日』の中で、山鹿素水にふれています。

「山鹿素水」妙な人物である。信じられないことだが、字が読めないで兵学を講義していた。読めないというのは酷かもしれないが吉田松

陰自身もそういつており、実際の山鹿素水もそれにちかい。

山鹿素水は本が読めないくせに、山鹿流の聖典である「武教全書」の解釈はまったくみごとで、素水がそれを説きはじめると、山河に軍勢が満ち、旗がひるがえり、砲煙があたり、銃弾が飛ぶ思いがする。

「二種の才物です。江戸では大変人氣もあります。」と、吉田松陰は玉木叔父へ手紙を書いた。

嘉永4（1851）年には、素水に入門していた吉田松陰・宮部鼎蔵と共に『練兵説略』を上梓しました。その後も全国に足を運び、京にも長く滞在しました。九州に足を踏み入れた折には、当地、山鹿の安楽寺を訪れ、書を一幅したためています。「老驥櫪に伏すとも志千里に在り」この詩は、三国志の雄として有名な



△山鹿の安楽寺を訪れた時に書いた書



△安楽寺 山鹿秀遠創建と伝えられる

曹操の詩です。この詩はさらに「烈士暮年壯心不已」と続きます。大意としては、「優れた馬は年をとってもその志は千里を駆ける、ましてや志ある士は人生の暮れにあっても若々しい、私はまだまだ成すことができる」というような意味でしょう。自身の祖先として尊んだ山鹿秀遠が建立したと伝えられる安楽寺に赴き、漢詩に己の気持ち託した人物、山鹿素水。そう、物語はここに始まる。

（芦屋歴史の里）

【山鹿流とは】江戸時代前期の儒学者・兵法家である山鹿素行が創始した兵法の流派。赤穂浪士が山鹿流を活用し、仇討ちに成功したとの世評もあり、全国に流布しました。

## 編集後記

▼毎年恒例となっている1月号表紙写真のモデルを今年も募集しています。今年度二十歳を迎える人で夏秋に着物やスーツで記念写真の前撮りする人はいませんか。男女自薦他薦は問いませんのでぜひ広報情報係まで連絡してください。（手塚）

▼わら馬づくり講習会の風景を撮影しました。わらを曲げたり編んだりする作業はなかなか難しいようで、皆さんの顔は真剣です。その分、出来上がったときは達成感でにっこりでした。わら馬づくりは、8月末まで毎週水曜日午後7時30分から町民会館で行っていますので、気軽に立ち寄ってくださいとのことでした。（那木）

▼梅雨が明けると、気象予報士よりも先に「夏だよー！」とセミたちがアラートをしてくれます。毎年決まって、学校の夏休み初日にセミの鳴き声を聞いて夏の始まりを体感していました。今年も7月1日に初鳴きを聞きました。これも地球温暖化の影響かと思うと少し複雑な気持ちです。地球温暖化の原因は、二酸化炭素やメタンなど大気中の熱を吸収する性質のあるガスが増えすぎたからだと言われているので、二酸化炭素の排出を減らす努力を世界中で取り組んでいます。便利に過ごすためのさまざまな生活をどの程度、調整したらいいのか複雑です。（欽守）

